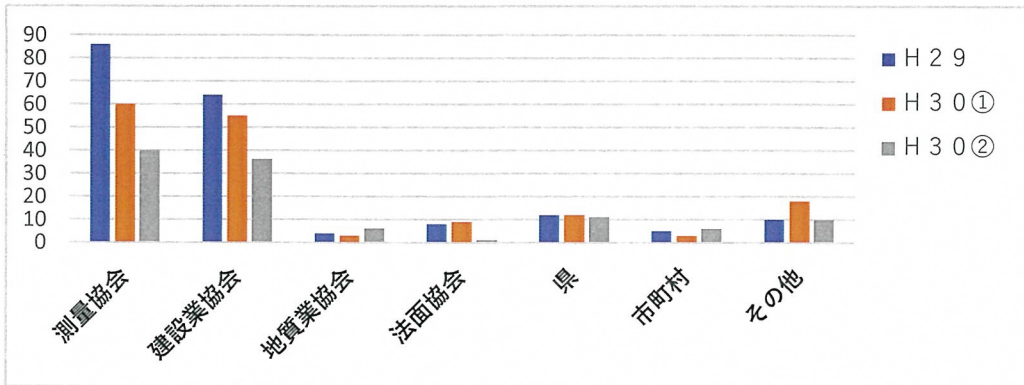


1. 応募、選抜、認定者の状況

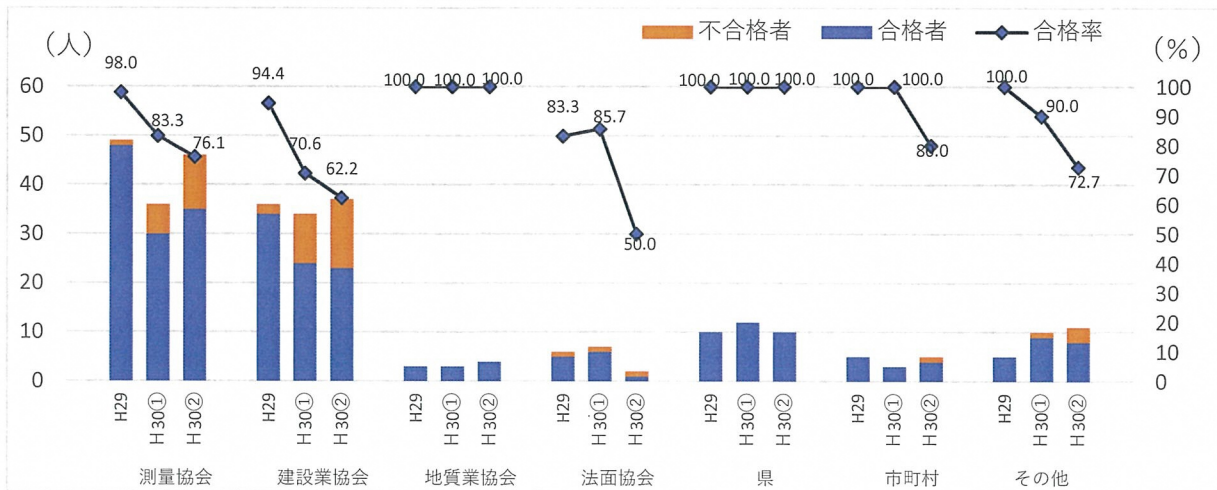
応募者は3回の合計で459人、選抜により333人が受講し、うち認定試験合格者は282人となっている。

①団体別応募者数の推移（人）



応募者数については、減少傾向にあることから、インフラメンテナンス技術者の必要性に加え、本コース受講による知識の習得の必要性も訴えていくことが求められる。

②団体別合格者数及び合格率の推移

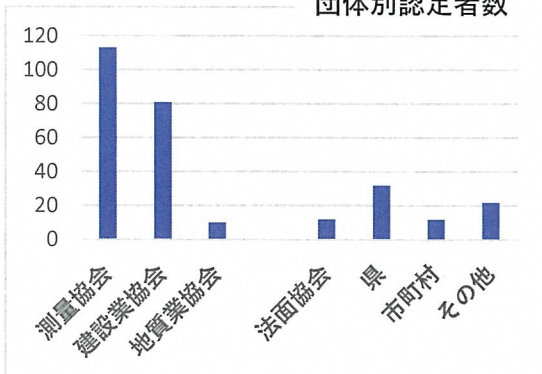


認定試験合格率の平均は、
 ・平成29年度 96.5%
 ・平成30年度第1回 82.9%、第2回 73.9%
 と、回を追うごとに減少している。
 団体別の平均合格率は上図のとおりである。

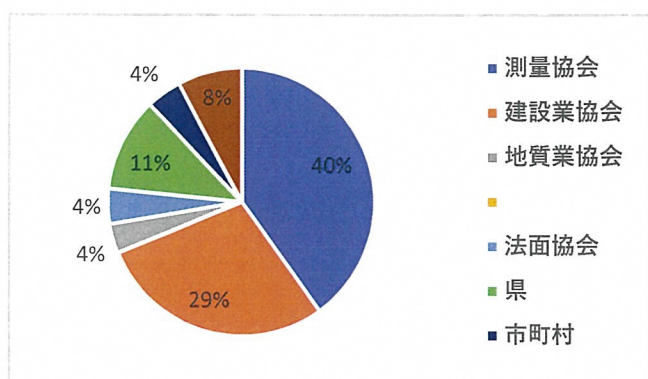
2. 認定者の状況

認定者は測量設計協会が113人と最も多く、次いで建設業協会が81人、県32人と続き、この3団体で8割を占めている。

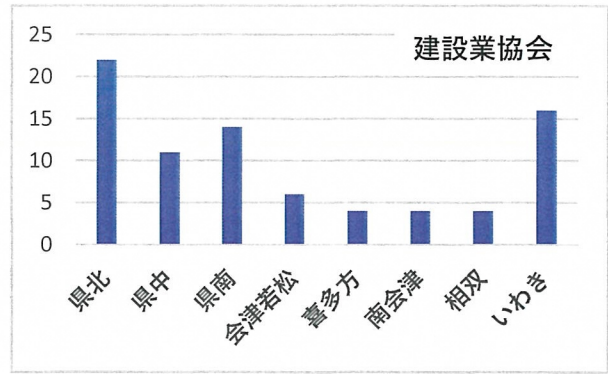
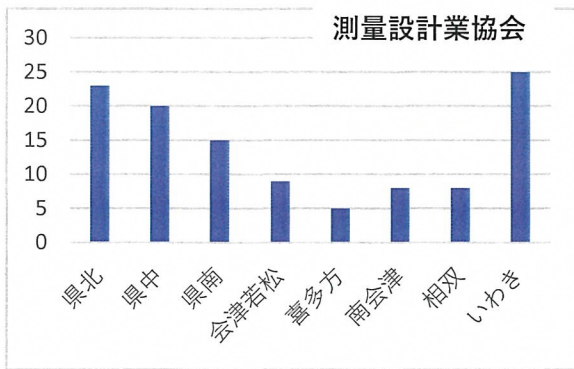
団体別認定者数



団体別認定者割合



3. 管内別認定者の状況（在籍企業管内別）

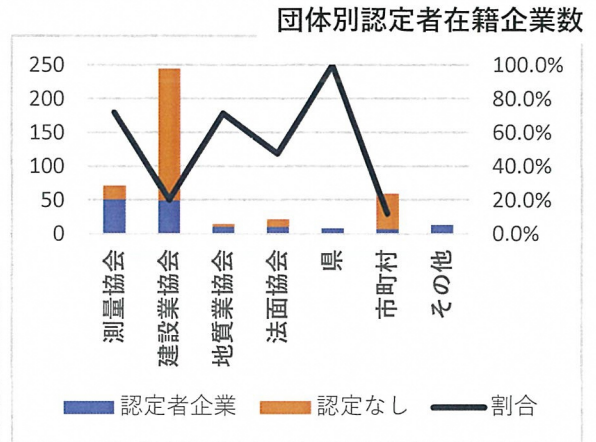


4. 認定者が在籍する企業状況

測量設計協会が51者と最も多く、次いで建設業協会の49者となっているが、会員数が大きく異なっているため、測量設計協会では会員の72%の企業に認定者が在籍しているのに対し、建設業協会は20%に留まっている。

団体別認定企業数

団体名	測量協会	建設業協会	地質業協会	法面協会	県	市町村
認定者企業	51	49	10	10	8	7
認定なし	20	195	4	11		52
割合	71.8%	20.1%	71.4%	47.6%	100%	11.9%



5. 団体ごとの方部別認定者在籍企業の状況

(会員企業に占める認定者在籍企業の割合)

①測量設計業協会

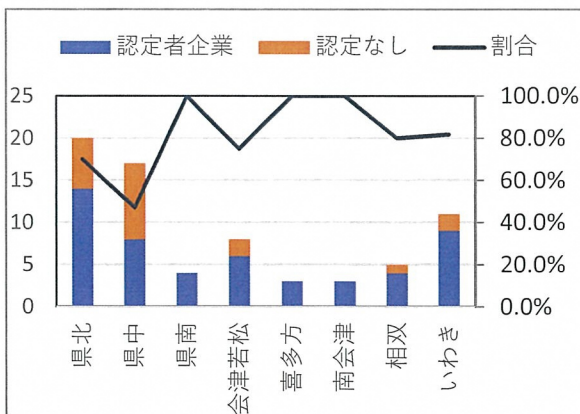
県中管内は17者中8者で47%と最も低いですが、県南、喜多方、南会津は100%となっている。

②建設業協会

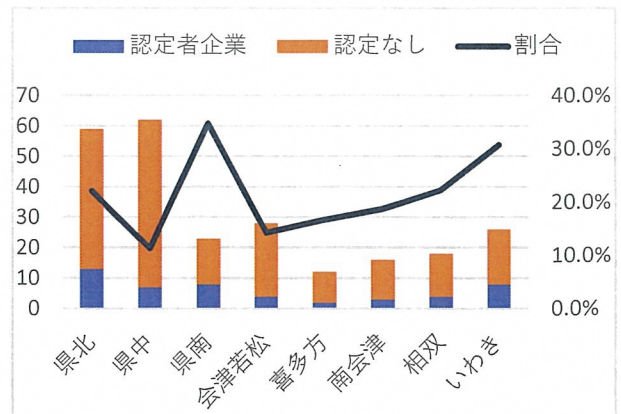
県中管内が62者中7者で11%と最も低く、県南管内は在籍企業数は8者であるが、率にすると35%と最も高くなっている。

管内別認定者在籍企業数

測量設計業協会



建設業協会



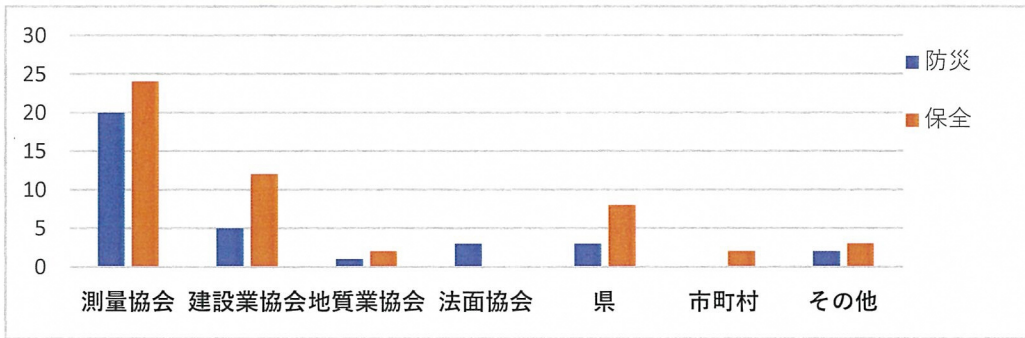
③地質調査業協会、法面保護協会

会員企業が不在の方部や認定者在籍企業がない方部もあり、母数が少ないことから、方部別比較はできない。

④その他

県の認定者は8方部全てに在籍している。一方、市町村の認定者は7市町に留まっている状況である。

1. 団体別応募の状況（人）

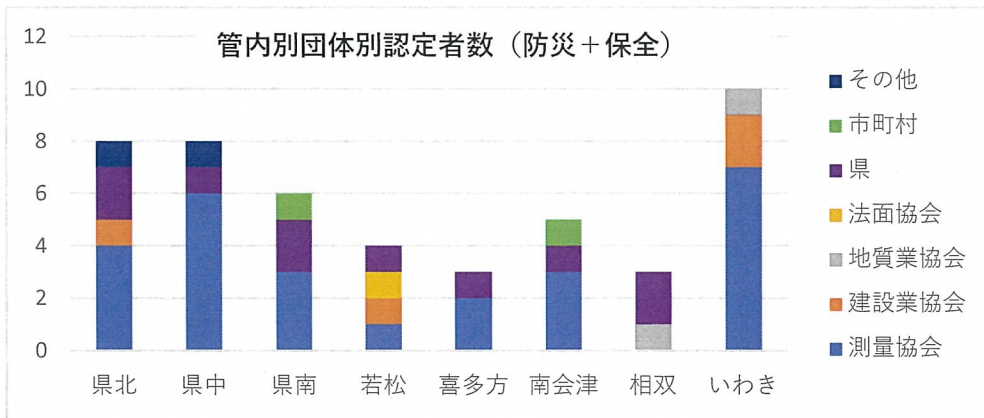
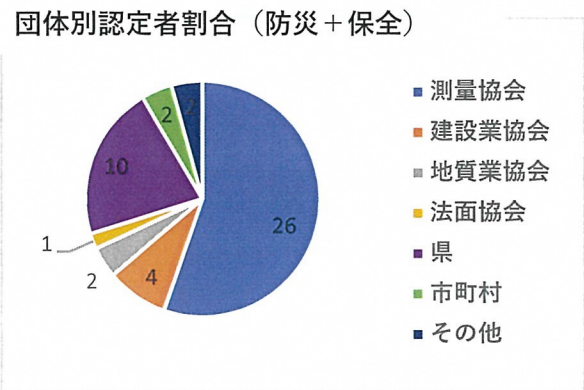
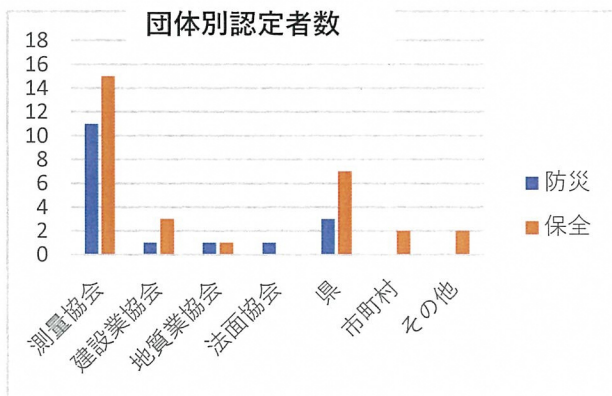


応募者数については、防災・保全ともに測量設計業協会が最も多い。また、防災と保全の選択については、建設業協会や行政においては、保全が多くなっている。

2. 認定者の状況

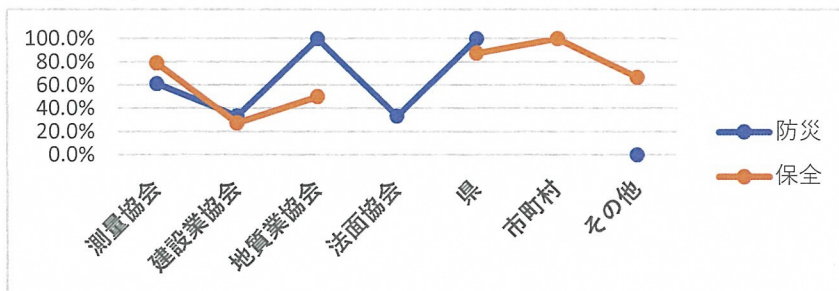
①団体別認定者数

- ・防災コース認定者17名のうち、測量設計業協会11名、行政3名となっている。
- ・保全コース認定者30名のうち、測量設計業協会15名、行政9名となっている。



管内別認定者数は、いわきが最も多く、次いで県北、県中の順となっているが、まだ10人程度である。

②団体別合格率



認定試験合格率の平均は、防災56.7%、保全66.7%であるが、防災コースでの建設業協会と法面保護協会、及び保全コースでの建設業協会と地質調査業協会が平均よりも低い合格率となっている。